



肝臓の4大機能

代謝機能

小腸や大腸から取り込んだ食物は、そのままの形では栄養素として利用できません。肝臓が必要な物質に化学的に変化させたのち、体内の各器官で利用することができます。

貯蔵機能

肝臓は、ブドウ糖をグリコーゲンの形でエネルギー源として蓄えています。特に、脳ではブドウ糖が主要なエネルギー源ですので、肝臓が安定供給に重要な役割を果たします。

合成機能

肝臓でコレステロールと胆汁酸から胆汁を作り出します。胆汁は、脂質の消化吸収を助けたり、肝臓で処理された不要物を排泄する役割があります。胆汁は、胆嚢にいったん蓄えられたのち胆管を通して十二指腸に分泌され、最終的には便とともに体外に出ます。

解毒機能

アルコール摂取や過度な運動、疲れによって作られる乳酸のほか、薬剤などのからだにとって有害な物質を解毒して無毒化します。また、腸管内の細菌によって食物中のタンパク質から有毒なアンモニアが作られますが、アンモニアも無毒化します。